



第1次

嘉麻市昆虫産業都市構想

昆虫の力できらりと光る未来を

2023-2028

Kamacity6.4

概要版

福岡県嘉麻市

1.構想策定基本事項 – 背景と目的 –

■ 定義 – 昆虫産業とは –

本市における昆虫産業の定義は、昆虫を活用した産業全般を指し、大学研究者、行政、市民、企業、民間団体などと一緒に取り組む昆虫を活用した新しい産業創出のチャレンジ全体を指します。

■ 背景 – 昆虫産業都市構想のはじまり –

本市は、令和3（2021）年度に九州大学産学官民連携セミナー地域政策デザインスクールに参加し、政策発表を通して、産学官民連携による昆虫産業の拠点としてのまちづくりを進める提案を受けました。これを受け、国立大学法人九州大学との交流が始まり、九州大学大学院農学研究院附属昆虫科学・新産業創生研究センターと、昆虫を活用しながら相互に協力することを目的に連携協定を締結しました。この協定をきっかけに、本市の昆虫産業の取組はスタートしました。



《本構想策定のきっかけとなった政策提言》

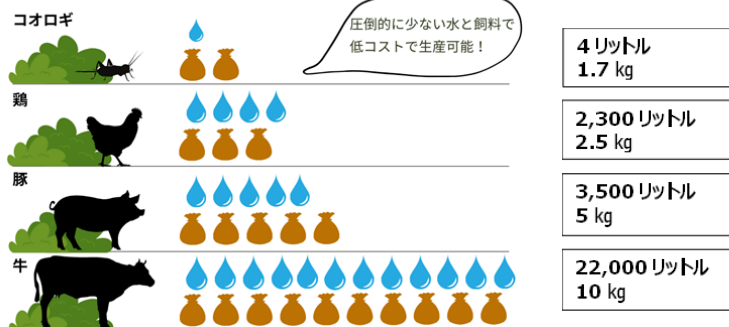


《九州大学昆虫科学・新産業創生研究センターとの連携協定》

■ 目的 – 昆虫を活用した産業政策 –

昆虫は、多様な機能を有し、食料や飼料以外にも昆虫の特性を活かした技術や医療応用が進展しています。昆虫の養殖は、少ない資源で生産が可能で環境に優しく持続可能な産業として注目が高まっています。国際連合食糧農業機関（以下、「FAO」という。）が平成25（2013）年5月に公表した食品及び飼料における昆虫類の役割に注目する報告書によると、昆虫は飼料変換率が高く、水の使用量が少ないことや養殖に必要な土地が少ないことから、環境負荷を軽減しつつ新たな産業の展開が見込まれるとの報告があつています。このような産業であれば、市が所有する遊休公共施設を活用してすぐに始められ、雇用創出や地域の活性化に寄与する可能性があると考えます。昆虫を活用した産業を市内で促進することで、上流から下流までの産業プロセスを構築することが期待できます。

タンパク質 1 kgを生産するのに必要な  と  の量



《九州大学との実証研究について》

令和5（2023）年9月に、市内の廃校を活用し、昆虫（カブトムシ）及び未利用有機廃棄物（竹、家畜糞など）を活用した持続可能な地産地消型生産システムの開発にかかる実証研究を開始しました。

本構想は、昆虫を活用した新しい産業を育て、昆虫産業の拠点としてのまちづくりを推進し、地域の魅力や経済力を高めることを目指しています。これにより、市内の産業活性化をもたらし、関係人口増加、人材育成等、未来に向けた持続可能な産業政策につなげることを目的とするものです。

2.昆虫産業都市の実践 – 目指す姿 –

■ 位置づけ

本構想は、「第2次嘉麻市総合計画後期基本計画」を上位計画とし、その計画に関連付けられているSDGs の概念や「嘉麻市人口ビジョン・第2期総合戦略」を十分に踏まえ、その他昆虫との関連が高い「福岡県ワンヘルス推進行動計画」等との整合性を図りながら、本市の産業政策として位置づけるものです。



■ 全体像

本構想では、昆虫を活用した新産業の創出による持続可能なまちづくりの実現を目指し、昆虫を通して、地域が直面する厳しい課題に向き合い、産学官民が協力し合い、様々な垣根を超えて連携することによって、地域課題の解決や大学との実証研究などの新しいチャレンジに取り組むものです。

実現に向けては、昆虫産業の拠点を構築し、「バイオ」「フード」「コミュニティ」の3つのプロジェクトを基本の柱とした新産業を育成することで地域に新しい価値を創出します。

Mission 使命	昆虫の力できらりと光る未来を		
	昆虫を通して、地域が直面する課題に向き合い、市内外の力を活用し、自然環境と共生したきらりと光る昆虫産業都市「嘉麻」を実現します		
Vision 将来像	昆虫による持続可能な新産業の創出		
	昆虫を活用した新産業を育成し、昆虫産業の拠点としてのまちづくりを推進します 環境に配慮した持続可能なまちづくりを目指し、地域の稼ぐ力と魅力を向上します		
Value 価値	3つのプロジェクトで地域に新しい価値をつくる		
	地域に新しい仕事をつくり、多様な働き方を実現します 産学官民の交流を通して、地域に新しいコミュニティをつくります		
	バイオ	フード	コミュニティ
	九州大学の研究シーズを活用した実証研究に市内で積極的に協力し、社会実装・事業化につなげます	九州大学や市内事業者等との実証研究を通し、農商工連携や6次化につながる産業を推進します	昆虫産業をつなぐ共創・成長の仕組みとしてプラットフォームを構築し、産学官民連携を推進します

3.構想の柱 – 3つのプロジェクトー

■ バイオプロジェクト

- ・九州大学昆虫科学・新産業創生研究センターとの共同研究を推進します。
- ・市内の遊休施設（廃校など）を利活用します。
- ・九州大学の研究シーズを活用し、市内での社会実装、事業化につなげ、昆虫活用による新産業を創出します。
- ・社会実装、事業化では、市内に生産拠点をつくり雇用を創出します。
- ・地域資源を有効活用し、昆虫を活用して地域課題の解決をはかります。
- ・昆虫による害虫防除、ワクチン開発、医療などの実証研究に協力します。

■ フードプロジェクト

- ・市民の働く場所として、市内事業者との連携を積極的に推進します。
- ・昆虫養殖、製品化、加工、販売など、農商工連携や6次化を推進します。
- ・生産から販売までのサプライチェーンの構築を目指します。
- ・魚粉や農産物肥料の代替品としての昆虫活用に取り組みます。
- ・九州大学の研究シーズを活用した共同研究や事業化との連携から商品開発につなげ、市内の経済力向上を目指します。
- ・九州大学との実証研究を通して、昆虫を活用した機能性の高い食品などの地域特産品の開発を目指します。

■ コミュニティプロジェクト

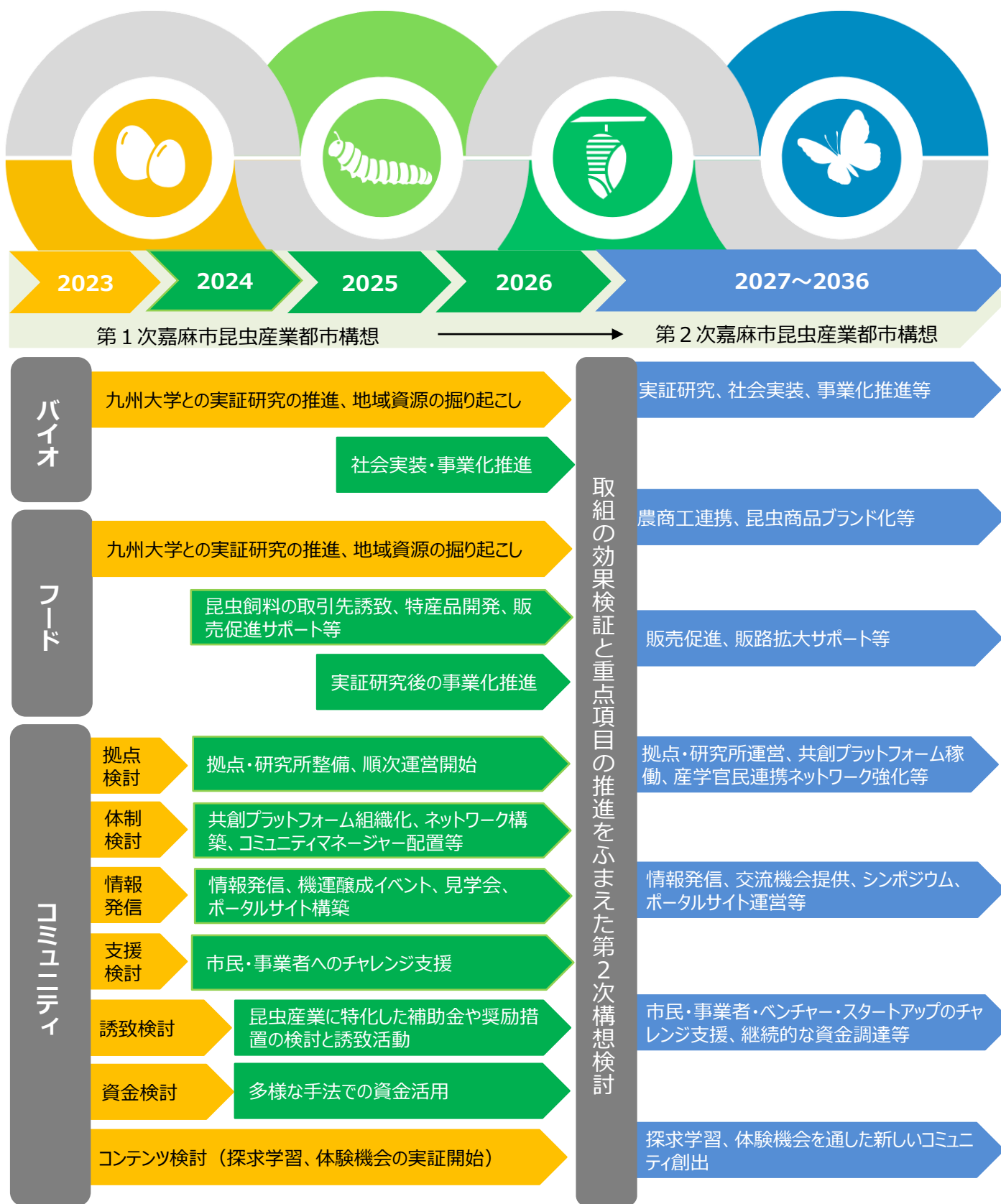
- ・市内の遊休施設（廃校など）を利活用し昆虫産業の拠点をつくります。
- ・昆虫産業共創プラットフォームをつくり、大学研究者、行政、市民、企業、民間団体とのコミュニティを創出します。
- ・昆虫を活用したシティプロモーションをはじめ、市内での産業、観光、環境、ワンヘルスなどの取組と連携します。
- ・市内での昆虫を活用した事業創出チャレンジを支援します。
- ・バイオ・フードの各プロジェクトと連携し、市内への誘致活動を積極的に行います。
- ・九州大学の昆虫標本や実証事業での昆虫を活用し、学習・体験コンテンツをつくります。
- ・昆虫を活用したふれあいイベント、市内に生息する希少昆虫ニシキキンカメムシの保護・観察ツアーなどに取り組みます。



4.ロードマップ

■ 立ち上げ期 令和5年度～令和8年度

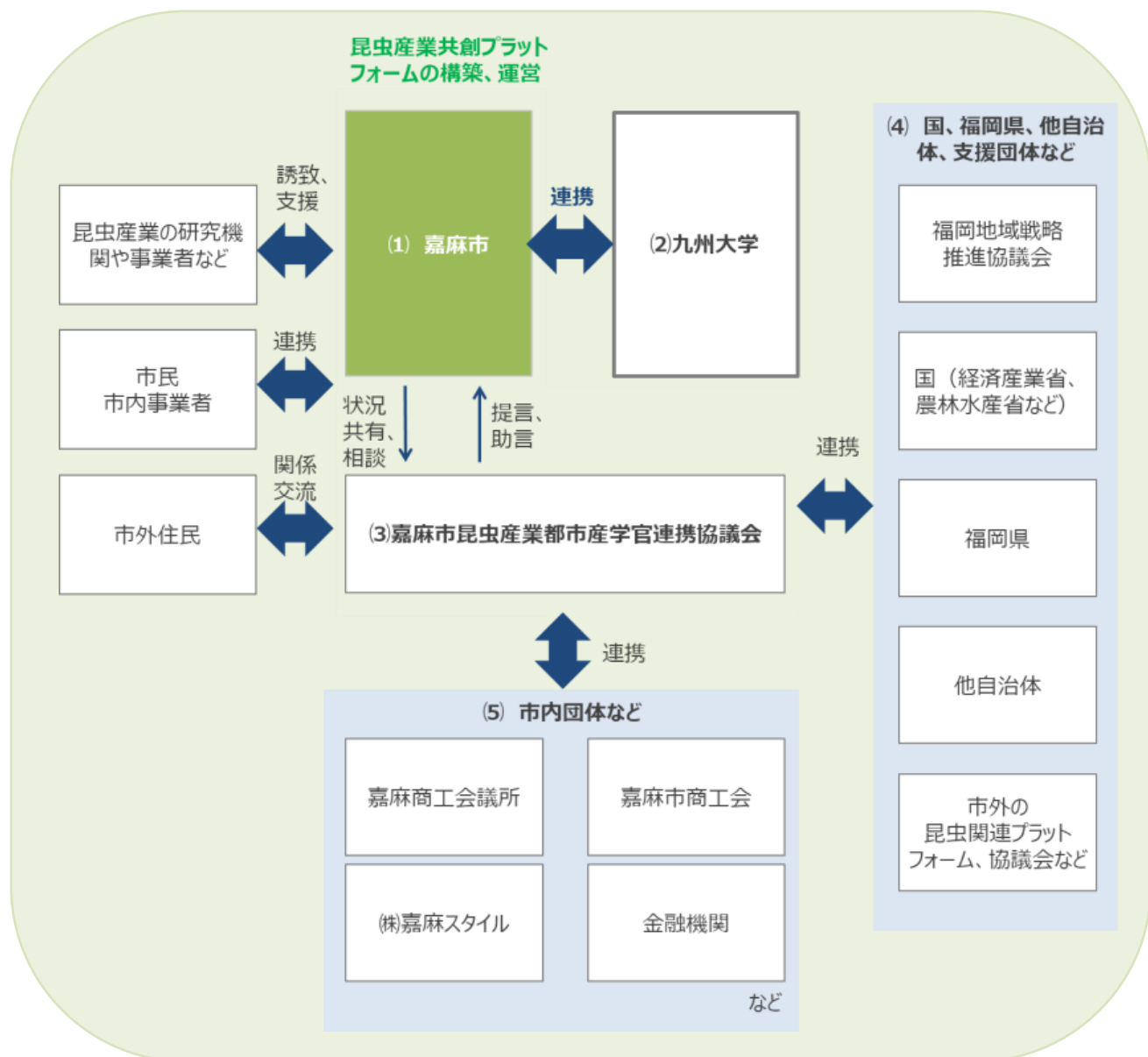
■ 成長・本格稼働期 令和9年度～令和18年度



5.推進体制

■ 体制図

本市と九州大学との連携を強化し、協議会からの助言を受けながら、国、福岡県、他自治体、支援団体及び市内団体との連携を図りながら昆虫産業を推進します。



発行：令和6年3月
策定：嘉麻市
編集：嘉麻市昆虫産業都市産学官連携協議会